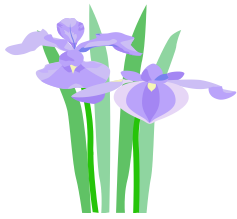


野沢明夫の議員報告

茅野市湖東 4241 番地 TEL 0266-77-2058 FAX 0266-77-2052

● 『出会いの広場』の会事務局 〒391-0301 茅野市北山北大塩道 6891
TEL、FAX は同上です。 Eメール : akky4241@po30.lcv.ne.jp



6月議会の一般質問と議案検討

- ①『行政主導の結婚推進事業促進の考えはあるか』
- ②『茅野警察署の総合安全対策推進の取組と市側対応について』
- ③『観光振興から「観光交流都市」提携のような考えはあるか』
- ④「市民栄誉賞」「市民プラン進行管理委員会」条例について

①『行政主導の結婚推進事業促進の考えはあるか』

〈ある男の話〉 『嫁について母は「誰でもいいよ」と言うけれど「出来れば日本人」「初婚で子連れでないほうがいい」と条件をつける。仕事のほかに、消防団、公民館、区役や財産区の役からも逃れられず、春や秋の田んぼもある。男という字は「田んぼに力」だ。でも彼も何とか結婚したい。しかし背負うものが多すぎる。』

さて、彼と同じような人は身の回りに居ませんか？

これは大きな社会問題です。そして、昔のように見合いを世話するおせっかいも居なくなり、現在一部の物好きなボランティアか、結婚相談を生業としている個人や企業、また社会福祉協議会の結婚相談所だけの対応で果たしていいのか、と思う。

「結婚推進事業」こそ、行政が先頭に立つて行うべき「市民の心の底から喜ばれる事業」といえるのではないかと思います。茅野市にはどのくらいいるのかしら？独身者。

●市内男女 30、40、50、代の独身者数と比率は

30代：男子 4360 人中 1682 人 38.6%、女性 4010 人中 898 人 22.4%

40代：男子 3653 人中 730 人 20.0%、女性 3363 人中 279 人 8.4%

50代：男子 3501 人中 (データなし)、女性 3536 (データなし)

50歳時点で結婚していない人の割合 男子 12.6% 女性 5.8%

これらは県の資料でそれを茅野市の人口に当てはめました。独自の数値は市は持っていません。あまり関心がないのでしょうか。市や広域で、調べてその数値を「茅野市の統計」や「諏訪地方統計要覧」に載せれば、問題意識の喚起につながるのに。

●非婚の原因分析は、意識変化、ライフスタイルの多様化「本人も周囲も結婚にこだわらなくなった」「独身生活の方が自由が多い」希望はあるが、「適当な相手にめぐり合わない」「仕事を持つ女性が増えて女性の経済力が向上した」「家事育児に対する負担感拘束感が大きい」「結婚相手に要求する条件が厳しくなった」「成人しても親離れ(子離れ)しない傾向」「仕事のためには独身の方が都合がよい」「女性が結婚後も働き続ける

ことに周りの理解が得にくい」「後継ぎの問題等が結婚相手の範囲を狭めている」「見合い等、結婚の仲立ちが減った」です。

●行政主導：非婚、晩婚化は、「少子化、労働力人口の減少、高齢化率の上昇、経済成長力、地域活力の低下」など社会に大きな影響を及ぼします。行政としては社協への支援が主で「結婚相談事業」に負うところが大きいのが現状です。行政は直接的にタッチしません。行政が介入すべきでないとする考え方は、見合いや、マッチングに際して個人情報管理や、デリケートな部分に踏み込むことへの躊躇からきています。

個々を条件で見合わせるという手法だけが行われてきましたが、他にも方法はあります。出会う機会作りも一方でしょう。個々の情報は最低限の範囲で、むしろ会の開催状況や内容を広報PRすることや、職域や地域、団体間へ働きかけて、人集めすることが一番大変なことです。そこに行政の力が借りられれば、より広範囲に交流できる可能性が広がります。

●県「ながの子ども子育て応援計画」には「出会いの機会づくりなどへの支援」があります。市や広域としてできることは無いのか。「茅野市はいい人に出会える街、諏訪圏は結婚できる街」「生涯一人にさせない町」などスローガンが浮かびます。

●団体NPO商工会JAなど異業種間交流をつなげる口火を、市が切ってくれたらと思います。すでに行政が立ち上がった例では、原村の村づくり委員会は結婚支援のサポーターを募集し始めたし、富士見町は議会棟の事務局の前に相談室を作りました。

私はこう考える。各団体間で、成婚数やお付き合いの数を競っている場合ではなく、広く出会いの機会を作り、明るく楽しく安心して参加できる場所作りを、行政が音頭を取ることが求められていると思います。手始めに、市の呼び掛けで、広域的に「結婚推進協議会」を開いてはもらえないでしょうか？市長の一声でできるのに。

②『茅野警察署の総合安全対策推進の取り組みと市側対応について』

茅野署は安全安心のまちづくり実現のための「セーフティーエコー作戦」を展開しています。署はパートナーシップのまちづくり事業への参画を市側に働きかけているのですが、受け手の担当は消防署です。消防団の分団長は各地区防犯組合長に委嘱され、消防活動と防犯活動をその活動に区別が付きにくい中で行っています。たとえば、サイレン吹鳴、各戸の防犯診断、パトロール、広報車によるPRや特別警戒は、消防、防犯活動のどちらといえるのでしょうか？ またこの度、市防犯組合は「女性部会」を設け、茅野防犯協会連合会は「女性部」をともに市更生保護女性会を母体で組織しました。

新たに作るのは大変なので、既存組織に当て職する。中身のある地域の自発的組織としての広がりを作り出すのはまだまだ時間がかかりそうです。

私はこう考える。一握りの方たちに役をお願いし、苦勞してもらおう構図は、「当て職」の手法です。防犯実践の中身を充実したものにするには、地区コミュニティーなどの子どもや高齢者関係の団体などとの連携も必要です。防犯組合長の消防分団長の仕事は増すばかり、警察からの要請を契機に総合的に考え直してみてもいいですか？

③『観光振興の上から「観光交流都市」提携のような考えはあるか』

私の作った造語だと思っていたら、同じような言葉があって、松本市と札幌市が、松本空港 FDA 就航を契機に、文化観光で交流都市協定を締結の記事がありました。

茅野市の現在の姉妹都市交流は岡山総社市、千葉県旭市、神奈川県伊勢原市それにアメリカロングモント市ですが、距離的に近い伊勢原市との民間交流が多く行われています。姉妹都市提携の内容や手続きは、一定の基準があり市長の提携書、議会の議決、何より特定の分野に限らない交流という条件がつきます。市長や議員も一期 4 年に行き来しますが、少し面倒です。そこで姉妹都市交流に加えて「観光交流都市」を数多く提携する中で観光振興につなげないかと考えたわけです。国内外を問わず、観光資源を持つ観光都市で、茅野に無いものを持っている町、行ってみたい町 20 市くらいと提携してお互いに観光集客につなげる。PR する。そのために市長は、全国の市長に向けて、茅野市では「観光で交流する都市を募集していますよ。一緒にやりませんか？」と呼び掛ける。観光交流都市構想宣言をする。どうかしら？

私はこう考える。交流提携はやるが、その後の交流大使は市長でなくとも、議員や一般市民になってもらい観光に絞って交流する。ひとつの輪が打開策につながる可能性はあるかもしれません。やってみたら面白いと思います。ひとつの提案。

④ **議会報告☆** <6 月議会議案の検討から>

●「茅野市民栄誉賞条例」

は全会一致で可決されましたが、既存「市長表彰規則」との区別や規定が明確ではありません。「市長の実名公表とその報道」によってすでに民意形成はなされ、議会は反対修正の議決を求める事に影響を受けたのかもしれませんが。人事案件の趣ですから市の慎重な対応が求められるべきでした。

●「茅野市民プラン進行管理委員会設置条例」案

に私は「市民が作り、実践し、評価する」一連のサイクルを行政運営上完結させることは、議会への挑戦として反対いたしました。これはそこへ参加する市民への反発では有りません。市長の主導性の問題です。本来判断すべきを市民にゆだねるその姿勢です。パートナーシップの手法に照らしてこれは良いことだとする意見もあります。しかし市民協働の手法は、プランの立案と実践する中でなされるべきで、その後の方向性の検証修正は中立公平な立場の外部者に求めるのが妥当だと考えます。外部シンクタンクの活用も一方でしょう。本来それは行政の仕事で、財政上の裏づけ、優先順位は多分に行政上の高度な判断が求められます。様々な分野別判断は、市行政計画を総合的判断する上で、収拾がつかなくなる危険性をはらんでいます。いまさら何を言ってもすでにこの法案は賛成者多数で可決されました。議会はこれから大きな課題を背負ったことになりました。今までのようには行きません。あるべき議会の姿として、市民との意見交換がなされていないことが最大の議会の弱点です。議会として民意をつかむ活動をしていかなければ行政側のこの手法に到底太刀打ちできなくなります。市民の声はひとつではありません。議会は丁寧に一人ひとりの意見を聞く方法を考えなくてはと感じます。定期的に市内各所でミーティングを開く必要があります。そのための行動を起こさなくてはならないと感じております。

●「出会いの広場」の会情報

- 皆さんの要望に答えた企画で人集めをします。希望をお寄せ下さい。出来ればグループでお願いいたします。
- 55 歳以上の方の企画もあります。
- 北山浦地域男性を集めてそこへ女性を集めたいと思います。小宮祭に合わせて企画するのも良いかも知れませんね。面白い企画をお寄せ下さい。お待ちしております。

3月議会後から現在まで

(議員活動、公職、その他の役職の活動を含む)

3月17日	商議所建産委員会講演会	14日	湖東コミュニティ運営委員会
18日	湖東小学校卒業式	20日	地域づくり諏訪支部交流会 野沢いつし様葬儀
19日	市役所湖東職員会送別会	21日	豊平保育園起工式 蓼科中央高原観光協会総会 薬物乱用防止講習会手話S
20日	湖東中地区綱打ち堀にて	22日	田植え、ライオンズ年次大会欠
21日	湖東上地区綱打ち白井出	23日	市ソフトテニス協会春季大会 森林文化の会講演会(欠)
22日	出会いの広場講演会	26日	ライオンズ次期役員理事会
23日	諏訪湖浄化議連総会	27日	鹿山会東急現地視察会 湖東コミュニティ運営協議総会
24日	白樺湖下水道組合議会	28日	行財政改革推進委員会
25日	笹原・湖東保育園卒園式 オリンピック出場報告会	30日	出会いの広場BBQ大会
28日	新井区出払い、御柱勢揃	31日	斉藤マツ様葬儀
29日	諏訪南行政事務組合議会 議会報告配布～1日	6月1日	白樺下水道議会講演会
4月1日	笹原・湖東保育園入園式	2日	土橋和子様葬儀 ライオンズ事業系委員会慰労会
2日	御柱祭山出し	3日	議会運営委員会
3日	木落とし旭ライオンズクラブ例会	6日	北部地区ゲートボール大会 特老アリア御柱祭奉仕活動
4日	川越し	7日	6月定例会開会・議案説明
6日	北部中入学式 湖東小学校入学式	8日	みどりのアプローチ作業
7日	伊東堅太郎様ご母堂様葬儀 医師会懇談会	10日	産業経済議連農林課勉強会
9日	湖東保育園新入園児手伝い	12日	広域防災講演会
13日	出会いの広場理事会	14日	議案質疑
15日	議会運営委員会議会改革案	15日	ライオンズクラブ最終例会
16日	湖東小学校職員歓送迎会	16日	一般質問①日目
17日	体育協会運動公園清掃中止 ライオンズゲスト講習会飯田	17日	一般質問②日目 横谷観音大滝神社例祭(欠) 一期議員懇談会
20日	ライオンズクラブ例会県議講演会	18日	一般質問③日目(⑬野沢)
21日	ハヶ岳岳麓蕎麦園直売開設 湖東地区社会福祉協総会	19日	レオクラブ最終例会
25日	ソフトテニス協会コート開き 市体育協会H22定期総会	20日	湖東地区消防操法大会(欠) 県クラブ実業団ソフトテニス大会
5月2日	～4日御柱祭上社里曳き	22日	総務文教委員会傍聴 薬物乱用防止養護教諭懇談
5日	田ブチ、ソフトテニス茅野大会、欠	23日	社会環境委員会
7日	県元気づくり支援金申請	25日	6月議会閉会議会慰労会
8日	金山保科千代子様ご葬儀	26日	薬物乱用防止街頭キャンペーン 市消防団P操法ラッパ大会
9日	新井区御柱後拭き慰労会		
12日	議会運営委員会全員協議会 常任委員会正副委員長選出 出会いの広場の会理事会		
13日	外山財産区野火番		